

人がひとりです。市役所に行ってお願ひした
 そうです。市役所のどこかはわかりませ
 ん。

録音 市役所へ

- どんな人が、だれにお願いしたでしょう。
- 町内会って言ってました。
- 市役所に行きました。
- 町内会長さんが代表して行きました。

分析点3

だれが、だれに、何を願ひしたか

だれが願ひに行くのか。この点の解明で
 足ぶみしている。誰が、誰にというところに
 子どもらしい表現や考え方があつた。地元
 の町内会長、支所の人、また行ったり、見
 たりしたことのない市役所の人々などの相
 互関係が録音によって子どもの考えをせま
 く、固いものにしたような反省もある。

3 願ひされた人のすること

- 願ひされ、頼まれた人は、その問題を
 どのようにして解決するのか。グループで
 話し合つてみよう
 〈グループ学習〉

第4グループ

- A 児 男SS 51
- B 児 男SS 53
- C 児 女SS 62
- D 児 女SS 40

- A 願ひされた人ってだれかな。
 (たのまれた人)
- C 頼まれた人って、だいたい土木の人だ
 よ。福島市でいうと—
- B そう たぶん土木だよ。
- A 土木の人が、たしか市長さんと計画をた
 てて市議会で話し合うでしょう。計画をか
 いて—
- C そうだ。予定をかく。学校を建てるのに
 似ている。

- B 学校をつくるのと似ているね。
- A 市の道、みんなで使う公共のものでしょ。
- B そうだ。ほんとうだ。
- C だいたい、まとめられることは、代表で
 たのむ。たのまれた人が計画して—
- D どうして学校のことと似ていると思うの
- C みんなで使うものだからでしょ。

分析点4

だれが、だれに、何を、どうやって決
 めるのかをはっきりさせたい。

市の人々が、代表の人に頼む。代表の
 人はどうするかという点が大體わかつた
 のは、一部のグループである。

- C 資料をつかってみようか。
- D 何をつかうの。
- A 資料ふくしまに、あつたかね。
- C あるよ。
- A 図にあらわしてみようか。
- D なんの図を書くの。
- C たのまれた人はどうするかでしょ。
- A はじめ、みんなの願ひって書いて。
- C 同じになるから、みんな一人一人書く
 とよい。
- B そうだ。自分で書いてみる。
- D なんか。
- A たのまれた人が、何をするかだよ。
- C なんにもしないと、道が良くなる
 ないで
 しょ。

—作業はじめる—

- A まとまったかい。
- C これでいいのかな。
- B もうまとめちゃつた。

- 資 料 ふくしま
- 教 科 書 市役所と市議会
- スライド 新旧の道

- この3つの資料で、まとめてみましょう。
- A ぼくたちのグループは大體まとまったよ
 ね。